



～ひかり～



7月生活目標：暑さに負けずに頑張ろう

平成30年7月9日 文責：校長 宮崎

5年生 臨海学校

自然体験の面白さ、公共施設でのマナー、友だちとの協力・絆 たくさんのことを学びました。

6月29日(金)～30日(土)の1泊2日で、5年生は幡多青少年の家に臨海学校に行きました。時折、小雨が降りましたが、子ども達が楽しみにしていた「シーカヤック」や「野外炊さんカレー作り」「ウォークラリー」など予定通りに実施できました。学校でもとりくんでいる4つの「あ」(あいさつ、あんぜん、あつまり、あとしまつ)の大切さがここでも確認されました。5年生41名が全員参加でき、笑顔がはじけていました。また、学校支援地域本部「中村小学校応援団」のボランティアとして8人の方が参加・ご協力してくれました。本当にありがとうございました。



シーカヤック 初めて体験した児童が多かったです、あつという間に上達しました。



進めたい方向に行くには、3人で息を合わせて。



朝の集いでラジオ体操。心と身体を起こしています。



手際よく野菜を切り、おいしいカレーができました。



ボランティアでご協力いただいた近藤さん、太田さん、長者さん(2人)、山崎(あ)さん、山崎(ゆ)さん、祖父江さん、津野さん、本当にありがとうございました。

「学力は、保護者の適切な働きかけで向上する！」

子どもの学力に関する調査結果（保護者対象アンケート：文部科学省）

このほど、文部科学省が、全国約14万人の保護者を対象に実施した子どもの学力に関する調査結果を発表しました。それによると、保護者の次のような適切な働きかけは、子どもの自制心や意欲などを高める傾向があるそうです。

□子どものよいところをほめる等して自信を持たせるようにしている。

□子どもに努力することの大切さを伝えている。

□子どもに最後までやり抜くことの大切さを伝えている。

□毎日子どもに朝食を食べさせている。

□テレビ、ビデオ、DVDを見たり、聞いたりする時間などのルールを決めている。



心や身体と同様、学力も、子ども達が自分の未来を切り拓いていくための重要な力です。もちろん、学校の授業で学力をつけていくことが第一義ですが、それだけではないことが、2013年度および2017年度に保護者対象に行った全国的な大規模調査から上記のようなことがわかっています。上の5項目は、学力向上に効果があるだけでなく、子どもの健全育成にかかわるとても重要な家庭での働きかけだと思えます。 ご家庭で今まで以上に大切にして子育てしていただきますよう、よろしくお願いします。

SNSなど、情報モラルに関わる学習 6月8日



本校でも、児童の携帯電話やスマートフォン等のネット端末の所持率が上がっています。これらの機器は便利なものではありませんが、使い方を間違えると、トラブルになったり、犯罪に巻き込まれたりすることがあります。使用する上でのマナーや問題点について、四万十市補導センターの松田先生に教えていただき、高学年に考えてもらいました。

保護者の方には、ネット端末の使用について責任をもっていただき、お子さんと話し合い、約束を決めるなどして使用状況を確認してください。

みんなで育てる幡多の子ども 幡多っ子 ネット宣言



幡多地区では、子ども達をネットトラブルから守るために、幡多市町村教育委員会連合会、幡多小・中学校長会、幡多地区小中学校PTA連合会、西部教育事務所の4者が「幡多っ子 ネット宣言」を表明して協働して取り組んでいます。（リーフレットは4月に配付済です）